

訃報

江藤价泰先生（東京都立大学名誉教授）のご逝去について

江藤价泰先生が、二〇一六年三月二日、享年八八歳にて永眠されました。

江藤先生は、一九五二年四月東京都立大学人文学部助手補に就任され、一九五七年四月に法経学部助手、一九五八年八月に法経学部助教授、一九六八年四月に法学部教授となりました。一九八九年三月末に退職されるまで、三十七年の長きにわたって、民事訴訟法、裁判法などの講義を担当され、一九八九年四月一日に東京都立大学名誉教授となりました。

学内においては、一九七五年度、一九七七年度及び一九八五年度の三期にわたって学生部長の要職を務められるなど、大学運営に多大な貢献をなされました。『フランス民事訴訟法研究…当事者主義的民事訴訟法の一断面』（一九八八年）に代表される江藤先生の研究は、フランスの民事訴訟法をはじめとする司法制度の各般に及び、歴史的・比較法的視野から市民社会の論理に基づき、わが国の民事訴訟法及び司法の運営に関して批判的考察と鋭い問題提起をなされ、わが国の民事訴訟法学の発展に多くの寄与をなされました。

本法学系として、江藤先生の生前のご功績を偲び、ここに謹んで哀悼の意を表します。

二〇一六年七月二九日

首都大学東京都市教養学部法学系長

大澤 麦

〔訃報〕

内藤謙先生（東京都立大学元教授）のご逝去について

内藤謙先生が、二〇一六年一月一七日、享年九二歳にて永眠されました。

内藤先生は、一九五八年一〇月に東京都立大学法経学部専任講師に就任され、一九五九年四月に同助教授、一九六七年一〇月に法学部教授となりました。一九七八年九月末のご退職までの二〇年間にわたり刑法の講座を担当され、東京都立大学の創生期を支え、法学部の礎を築きました。誠実、温厚なお人柄で、学生一人一人に常に真摯に向き合われ、講義、ゼミを通じ多くの学生に深い感銘を与えました。

先生のご業績は多岐にわたりますが、刑法改正作業に深く関与され、『刑法改正と犯罪論—日本・ドイツ・オーストリアの刑法改正事業における展開（上）（下）』（一九七四年、一九七六年）、『西ドイツ新刑法の成立—刑法改正草案との比較法的検討』（一九七七年）をまとめられました。また、体系書である『刑法講義・総論（上）（中）（下Ⅰ・Ⅱ）』（一九八三年、一九八六年、一九九一年、二〇〇二年）は、内藤刑法学の集大成として、学界に多大な影響を与えました。

本学法学系として、内藤先生の生前のご功績を偲び、ここに謹んで哀悼の意を表します。

二〇一六年七月二九日

首都大学東京都市教養学部法学系長

大澤 麦